



お知らせ

記者発表資料
配布日

平成25年 4月15日

島根県政記者会、出雲市政記者クラブ

志津見ダムにおいて 試験的にフラッシュ放流を実施します

国土交通省出雲河川事務所では「志津見ダム・尾原ダムモニタリング委員会」における審議結果、また、「神戸川の河川環境に関する専門委員会」における報告書を踏まえ、河川環境改善効果を確認するため志津見ダムからの試験的なフラッシュ放流(注1)の実施を行いますのでお知らせします。

1. 目的

志津見ダムからの放流量を一時的に増加させることにより、川底の石などに堆積している付着泥の除去状況、付着藻類の剥離状況、カナダモ類等の状況について放流前後に調査します。

2. 実施予定日等

平成25年4月17日(水) 7:00~17:00(志津見ダムからの放流時間)

志津見ダムからの放流量 最大16 m³/s

(前日の河川状況、当日、大雨洪水警報等が発表された場合は日程を再調整します。予定日に実施しない場合は、速やかにFAX等で連絡いたします。)

なお、フラッシュ放流中の窪田発電所、乙立発電所の発電停止、八幡原堰の半分程度倒伏、フラッシュ放流終了後の志津見ダムへの来島ダムからの補給について中国電力に協力頂きます。

3. 調査内容

①事前調査(フラッシュ放流前日の調査)

付着泥、付着藻類、カナダモ類の状況調査、水質調査等。

②放流中調査(フラッシュ放流中の調査)

水深、流速等の河川状況調査、水質調査等。

③事後調査(フラッシュ放流翌日の調査)

付着泥、付着藻類、カナダモ類の状況調査等。

4. 調査結果の公表

調査結果について取りまとめを行い後日公表します。

5. その他

フラッシュ放流により河川の水位が普段より上昇しますのでご注意願います。

予想される水位上昇量と時間は、別紙のとおりです。

(注1)フラッシュ放流とは?

ダムからの放流量を一時的に増やし人工の小規模洪水を起こし、付着藻類の剥離及び浮遊物の清掃を図り、生物の多様な生息・生育環境の保全、復元や水環境の改善を期待するものです。

<問い合わせ先> 国土交通省 中国地方整備局 出雲河川事務所

副所長(技) 玉田 一雄(たまだ かずお)

【担当】 建設専門官 笠見 紀之(かさみ のりゆき)

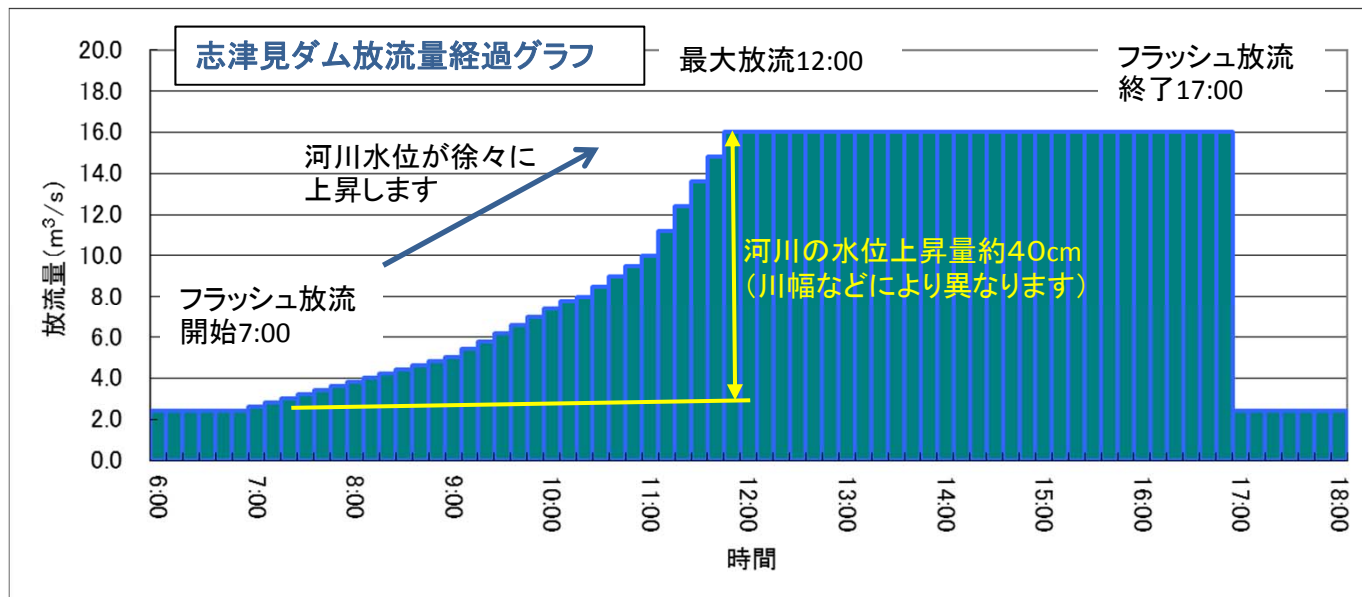
TEL 0853-20-1763

4月17日の問い合わせ先及び取材対応 志津見ダム管理所

島根県飯石郡飯南町角井1891-20 TEL 0854-73-0222

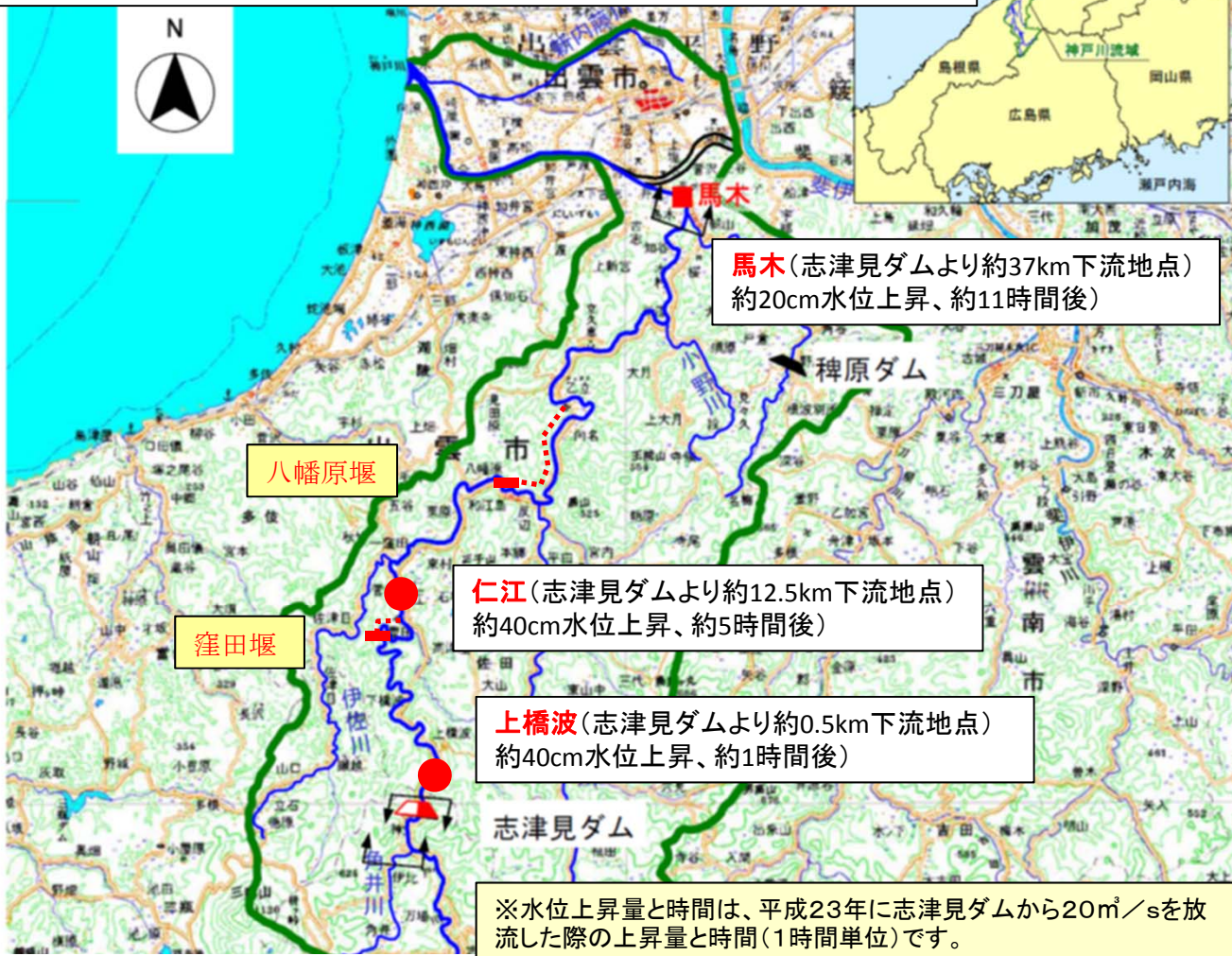
フラッシュ放流の方法

- 神戸川における急激な河川水位の上昇が生じないように志津見ダムからの放流量を徐々に増やします。
- 放流は、午前7時より開始し午後12時頃に最大16m³/sの放流量に達し、午後5時頃まで放流します。
- フラッシュ放流中は、河川巡視を行い安全に努めます。

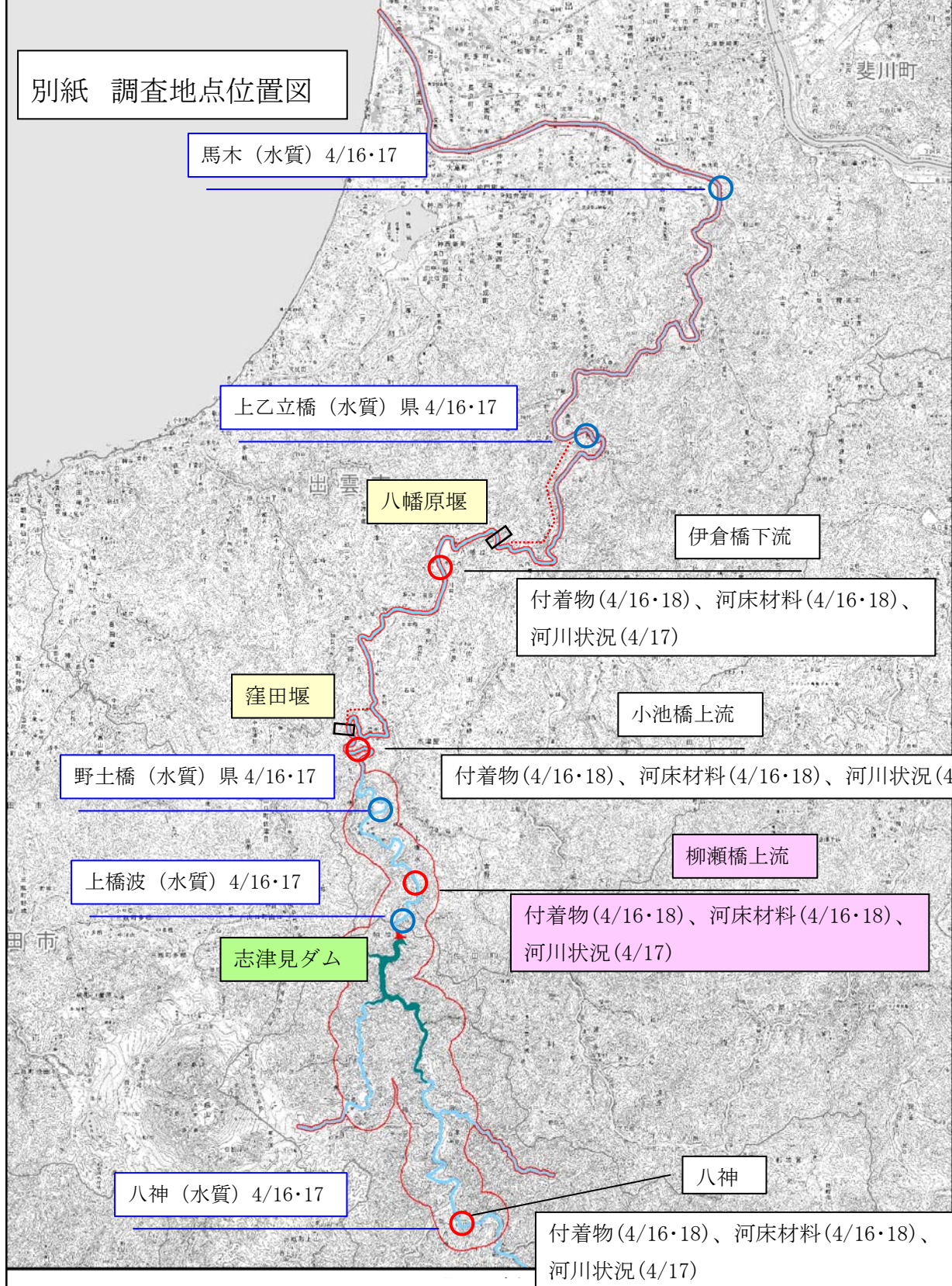


志津見ダムフラッシュ放流による予想水位上昇量と時間

※フラッシュ放流により河川の水位が普段より上昇しますので注意願います。



別紙 調査地点位置図



貯水池湛水区域

河川

業務実施区域

付着物調査地点

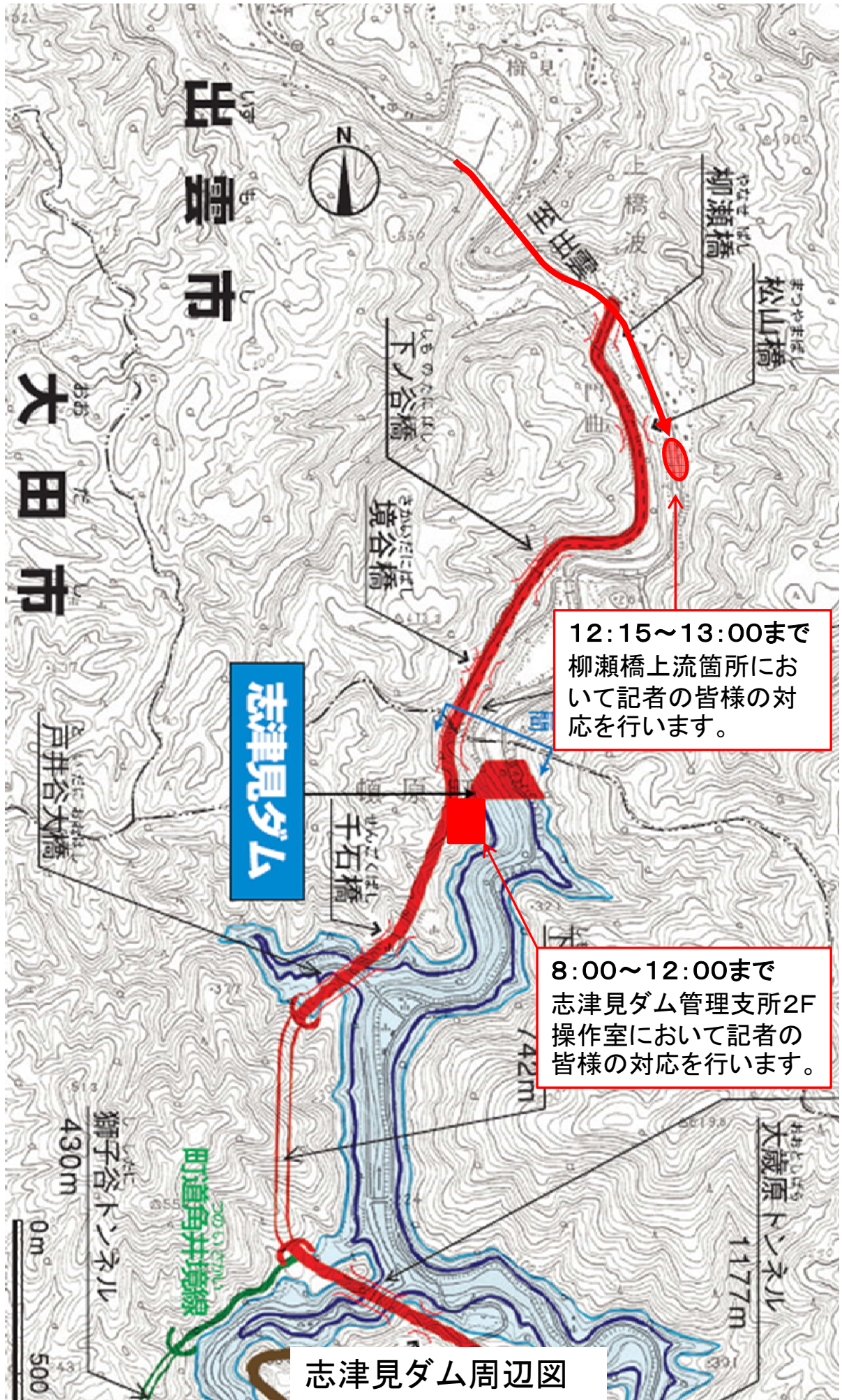
水質調査地点



S=1:150,000

0 2.5 5km

フラッシュ放流前後の付着物調査地点



12:15~13:00まで
柳瀬橋上流箇所において記者の皆様への対応を行います。

8:00~12:00まで
志津見ダム管理支所2F
操作室において記者の皆様への対応を行います。

志津見ダム

志津見ダム周辺図